

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2017-18568

(P2017-18568A)

(43) 公開日 平成29年1月26日 (2017.1.26)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
A 4 7 B 88/423 (2017.01)	A 4 7 B 88/04	A 3 B 0 6 0
F 1 6 C 29/08 (2006.01)	F 1 6 C 29/08	3 J 1 0 4
A 4 7 B 88/40 (2017.01)	A 4 7 B 88/04	Z 4 E 3 6 0
H 0 5 K 5/02 (2006.01)	H 0 5 K 5/02	H

審査請求 有 請求項の数 10 O L (全 12 頁)

(21) 出願番号	特願2015-247064 (P2015-247064)	(71) 出願人	504297766 川湖科技股▲分▼有限公司 台湾高雄市路竹區後鄉里順安路299號
(22) 出願日	平成27年12月18日 (2015.12.18)	(71) 出願人	513240939 川益科技股▲ふん▼有限公司 台湾高雄市路竹區高雄科學工業園區路科九路6號
(31) 優先権主張番号	104122496	(74) 代理人	100107766 弁理士 伊東 忠重
(32) 優先日	平成27年7月9日 (2015.7.9)	(74) 代理人	100070150 弁理士 伊東 忠彦
(33) 優先権主張国	台湾 (TW)	(74) 代理人	100091214 弁理士 大貫 進介

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 スライドレール取付機構

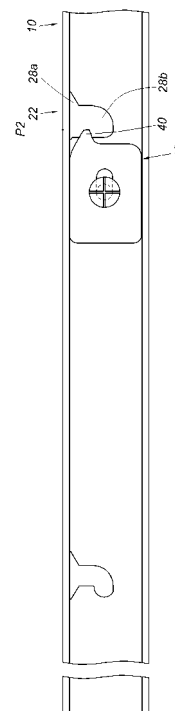
(57) 【要約】

【課題】異なる長さを有する被搬送物に適用可能なスライドレール取付機構を提供する。

【解決手段】

スライドレール取付機構は、レール要素及び調整要素を含む。レール要素は、上壁と、下壁と、上壁と下壁との間に接続された中間壁とを有する。収容スロットが上壁と中間壁との間に形成される。調整要素は、レール要素に移動可能に取り付けられる。調整要素はレール要素の上壁に隣接して位置する上部と、レール要素の下壁に隣接して位置する下部とを有する。調整要素が、ある位置へと動くように調整されるとき、調整要素は、収容スロット内にあるように延伸する。

【選択図】 図3B



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

互いに分離した第 1 収容スロット及び第 2 収容スロットを含むレール要素と、
前記レール要素に移動可能に取り付けられ、かつ、第 1 位置と第 2 位置との間で前記レール要素に対して動くことができる調整要素であり、前記調整要素及び前記レール要素のうちの 1 つは、長孔を有する、調整要素と、
前記レール要素及び前記調整要素を接続するために、前記長孔を貫通する固定要素と、
を備え、
前記調整要素が、前記第 1 位置に位置するとき、前記調整要素は、前記第 1 収容スロット内にあるように延伸せず、
前記調整要素が、前記第 1 位置から前記第 2 位置へと動くように調整されるとき、前記調整要素は、前記第 1 収容スロット内の空間の一部に延伸する、
スライドレール取付機構。

10

【請求項 2】

前記レール要素は、上壁と、下壁と、前記上壁と前記下壁との間に接続された中間壁とを有し、通路が、前記上壁、前記下壁及び前記中間壁によって画定され、前記調整要素は、前記通路内に位置する、請求項 1 に記載のスライドレール取付機構。

【請求項 3】

前記第 1 収容スロット及び前記第 2 収容スロットの各々は、前記レール要素の前記上壁の一部から前記レール要素の前記中間壁の一部へと延伸される、請求項 1 に記載のスライドレール取付機構。

20

【請求項 4】

前記調整要素は、前記レール要素の前記上壁に隣接して位置する上部と、前記レール要素の前記下壁に隣接して位置する下部と、前記上部と前記下部との間に接続された本体部と、前記本体部から延伸したブロック部とを有し、前記第 1 収容スロットは、互いに連通した第 1 部分及び第 2 部分を含み、前記調整要素が、前記第 1 位置に位置するとき、前記調整要素の前記ブロック部は、前記第 1 部分と前記第 2 部分との間の前記第 1 収容スロット内にあるように延伸せず、前記調整要素が、前記第 1 位置から前記第 2 位置へと動くように調整されるとき、前記調整要素の前記ブロック部は、前記第 1 部分と前記第 2 部分との間の前記第 1 収容スロット内にあるように延伸する、請求項 2 に記載のスライドレール取付機構。

30

【請求項 5】

前記第 1 収容スロットは、実質的に U 形状である、請求項 1 に記載のスライドレール取付機構。

【請求項 6】

前記第 2 収容スロットは、実質的に J 形状である、請求項 1 に記載のスライドレール取付機構。

【請求項 7】

上壁と、下壁と、前記上壁と前記下壁との間に接続された中間壁とを有するレール要素であり、第 1 収容スロット及び第 2 収容スロットは、前記上壁と前記中間壁との間に形成され、前記第 1 収容スロットは、互いに連通した第 1 部分及び第 2 部分を含む、レール要素と、

40

前記レール要素に移動可能に取り付けられ、前記レール要素の前記上壁に隣接して位置する上部と、前記レール要素の前記下壁に隣接して位置する下部とを有する、調整要素と、

を備え、

前記調整要素が、ある位置へと動くように調整されるとき、前記調整要素は、前記第 1 部分と前記第 2 部分との間の前記第 1 収容スロット内にあるように延伸する、

スライドレール取付機構。

【請求項 8】

50

前記の位置において、前記レール要素及び前記調整要素を接続するための固定要素を更に備える、請求項 7 に記載のスライドレール取付機構。

【請求項 9】

被搬送物に適用可能であり、前記被搬送物は、第 1 取付要素及び第 2 取付要素を含む、スライドレール取付機構であって、当該スライドレール取付機構は、

互いに分離した第 1 収容スロット及び第 2 収容スロットを含むレール要素であり、前記第 1 収容スロットは、前記第 1 取付要素を取り付けるように構成され、かつ、互いに連通した第 1 部分及び第 2 部分を有し、前記第 2 収容スロットは、前記第 2 取付要素を取り付けるように構成される、レール要素と、

前記レール要素に移動可能に取り付けられた調整要素であり、前記調整要素が、前記レール要素に対してある位置へと動くとき、前記調整要素は、前記第 1 部分と前記第 2 部分との間の前記第 1 収容スロット内にあるように延伸する、調整要素と、

を備え、

前記被搬送物の前記第 1 取付要素が、前記レール要素の前記第 1 収容スロットの前記第 1 部分から前記第 2 部分に入り、かつ、前記第 2 取付要素が、前記第 2 収容スロット内に位置するとき、前記の位置に位置する前記調整要素は、第 1 取付要素が垂直な方法で前記第 1 収容スロットから直接的に取り外れることを防ぐように構成される、

スライドレール取付機構。

【請求項 10】

前記の位置において、前記レール要素及び前記調整要素を接続するための固定要素を更に備える、請求項 9 に記載のスライドレール取付機構。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、スライドレール取付機構に関し、特に、異なる長さを有する被搬送物に適用可能なスライドレール取付機構に関する。

【背景技術】

【0002】

一般的に、スライドレールアセンブリは、第 1 レール及び第 2 レールを少なくとも備える。第 2 レールは、第 1 レールに対して、回収位置 (r e t r i e v e p o s i t i o n) 又は延伸位置にあるように動かされ得る。第 2 レールは、シャーシ (c h a s s i s) 、引出しなどの被搬送物を取り付けるように構成される。

【0003】

米国特許 6 , 2 0 9 , 9 7 9 B 1 号明細書は、スライドレールアセンブリを開示する。米国特許 6 , 2 0 9 , 9 7 9 B 1 号明細書の図 1 に示すように、スライドレールアセンブリのレール要素は、シャーシの複数の対応する取付ポスト 1 4 を取り付けるために、複数の L 形状のスロット 1 6 を有する。一般的に、上記の配置によりシャーシを取り付けるとき、シャーシはレール要素の真上にあるように持ち上げられなければならない、シャーシの取り付けポストは、次いで、垂直落とし込み法 (v e r t i c a l d r o p - i n m a n n e r) で取り付けるために、全ての L 形状のスロットに整列され、シャーシは更に水平に動く。従って、シャーシは器具を使用せずにレールに取り付けられ得る。しかし、そのような取付方法は、全ての取付ポストを全ての L 形状スロットに整列させなければならない。スライドレールアセンブリは、異なる長さを有するシャーシに適用可能である (例えば、より長いシャーシは、レール要素に取り付けるために 3 つの取付ポストを有することができ、より短いシャーシは、レール要素に取り付けるために 2 つの取付ポストを有することができる) が、垂直落とし込み法でシャーシを取り付けるのは不便である。

【0004】

米国特許 6 , 9 3 8 , 9 6 7 B 2 号明細書は、別のスライドレールアセンブリを開示する。米国特許 6 , 9 3 8 , 9 6 7 B 2 号明細書の図 9 に示すように、スライドレールアセンブリのレール要素は、シャーシの複数の対応する取付ポスト 1 4 を取り付けるために、

実質的にU形状の複数の収容スロット16を有する。一般的に、上記の配置によりシャーシを取り付けるとき、シャーシはレール要素の真上にあるように持ち上げられなければならない、次いで、取付ポストは、垂直落とし込み法で取り付けるために、収容スロットに整列される。レール要素における収容スロットがU形状のスロットなので、シャーシの前端部が外力により押圧されるとき、シャーシの後端部は、上方に傾斜され得る。従って、U形状の収容スロットを使用するとき、弾性係合要素は、収容スロットの1つに通常提供される。収容スロットから取付ポストが取り外れることを防ぐために、係合要素によるシャーシの取付ポストを保持することを介して、シャーシをレール要素に取り付ける安定性は向上され得る。しかし、シャーシが、レール要素から取り外されるとき、ユーザは、収容スロットの外部に係合要素を維持するように力を加えなければならない、これにより、シャーシはレール要素から取り外され得る。上記の解放操作は不便である。一方で、そのような設計は、特定の仕様を有するシャーシに主に適用される。より短いシャーシを取り付けるとき、レール要素の後端部における収容スロットが、いかなるブロック機能(blocking feature)も有さないU形状であるので、シャーシの前端部が外力によって押圧されるとき、シャーシの後端部は、上方に傾斜され得る。

10

20

30

40

50

【先行技術文献】

【特許文献】

【0005】

【特許文献1】米国特許6,209,979号明細書

【特許文献2】米国特許6,938,967号明細書

【0006】

従って、本発明は、上記課題を解決するために提供される。

【発明の概要】

【0007】

本発明は、異なる長さを有する被搬送物に適用可能なスライドレール取付機構に関する。

【0008】

本発明の一実施形態によると、スライドレール取付機構は、レール要素、調整要素及び固定要素を備える。レール要素は、第1収容スロット及び第2収容スロットを含む。調整要素は、レール要素に移動可能に取り付けられ、かつ、第1位置と第2位置との間でレール要素に対して動くことができる。調整要素及びレール要素のうちの1つは、長孔を有する。固定要素は、レール要素及び調整要素を接続するために、長孔を貫通する。調整要素が、第1位置に位置するとき、調整要素は、第1収容スロット内にあるように延伸せず、調整要素が、第1位置及び前記第2位置から動くように調整されるとき、調整要素は、第1収容スロット内の空間の一部に延伸する。

【0009】

本発明の別の実施形態によると、スライドレール取付機構は、レール要素及び調整要素を備える。レール要素は、上壁と、下壁と、上壁と下壁との間に接続された中間壁とを有する。第1収容スロット及び第2収容スロットは、上壁と中間壁との間に形成される。第1収容スロットは、互いに連通した第1部分及び第2部分を含む。調整要素は、レール要素に移動可能に取り付けられる。調整要素は、レール要素の上壁に隣接して位置する上部と、レール要素の下壁に隣接して位置する下部とを有する。調整要素が、ある位置へと動くように調整されるとき、調整要素は、第1部分と第2部分との間の第1収容スロット内にあるように延伸する。

【0010】

本発明の別の実施形態によると、スライドレール取付機構は、被搬送物に適用可能である。被搬送物は、第1取付要素及び第2取付要素を含む。スライドレール取付機構は、レール要素及び調整要素を備える。レール要素は、互いに分離した第1収容スロット及び第2収容スロットを含む。第1収容スロットは、第1取付要素を取り付けるように構成され、かつ、互いに連通した第1部分及び第2部分を有する。第2収容スロットは、第2取付

要素を取り付けるように構成される。調整要素は、レール要素に移動可能に取り付けられる。調整要素が、レール要素に対してある位置へと動くとき、調整要素は、第 1 部分と第 2 部分との間の第 1 収容スロット内にあるように延伸する。被搬送物の第 1 取付要素が、レール要素の第 1 収容スロットの第 1 部分から第 2 部分に入り、かつ、第 2 取付要素が、第 2 収容スロット内に位置するとき、該位置に位置する調整要素は、第 1 取付要素が垂直な方法で第 1 収容スロットから直接的に取り外れることを防ぐように構成される。

【 0 0 1 1 】

上記実施形態の 1 つによると、レール要素は、上壁と、下壁と、上壁と下壁との間に接続された中間壁とを有する。通路が、上壁、下壁及び中間壁によって画定される。調整要素は、通路内に位置する。収容スロットの各々は、レール要素の上壁の一部からレール要素の中間壁の一部へと延伸する。調整要素は、レール要素の上壁に隣接して位置する上部と、レール要素の下壁に隣接して位置する下部と、上部と下部との間に接続された本体部と、本体部から延伸したブロック部 (blocking part) とを有する。第 1 収容スロットは、互いに連通した第 1 部分及び第 2 部分を含む。調整要素が、第 1 位置に位置するとき、調整要素のブロック部は、第 1 部分と第 2 部分との間の第 1 収容スロット内にあるように延伸しない。調整要素が、第 1 位置から第 2 位置へと動くように調整されるとき、調整要素のブロック部は、第 1 部分と第 2 部分との間の第 1 収容スロット内にあるように延伸する。

10

【 0 0 1 2 】

上記実施形態の 1 つによると、第 1 収容スロットは、実質的に U 形状である。

20

【 0 0 1 3 】

上記視点の 1 つによると、第 2 収容スロットは、実質的に J 形状である。

【 0 0 1 4 】

本発明の上記及びその他の目的が、さまざまな図及び図面に図示される好ましい実施形態の以下の詳細な説明を読むと、当業者に明白なことは言うまでもない。

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 1 5 】

【 図 1 】 本発明の一実施形態に従ったスライドレール取付機構を示す図である。

【 図 2 】 本発明の一実施形態に従ったスライドレール取付機構の展開図を示す図である。

【 図 3 A 】 本発明の一実施形態に従った、レール要素に対して第 1 位置に位置するスライドレール取付機構の調整要素を示す図である。

30

【 図 3 B 】 本発明の一実施形態に従った、レール要素に対して第 2 位置に位置するスライドレール取付機構の調整要素と、収容スロット内にあるように延伸した該調整要素の一部とを示す図である。

【 図 4 】 本発明の一実施形態に従った、第 1 の長さを有する被搬送物に適用可能なスライドレール取付機構を示す図である。

【 図 5 A 】 本発明の一実施形態に従った、レール要素の収容スロット内に被搬送物の取付要素を取り付けるための、スライドレール取付機構と被搬送物との間の取付操作を示す図である。

【 図 5 B 】 本発明の一実施形態に従った、レール要素の収容スロット内に被搬送物の全ての取付要素を対応して取り付けるための、スライドレール取付機構と被搬送物との間における取り付け操作を示す図である。

40

【 図 6 】 本発明の一実施形態に従った、第 2 の長さを有する被搬送物に適用可能なスライドレール取付機構を示す図である。

【 図 7 A 】 本発明の一実施形態に従った、取付要素をブロックするために第 2 位置に調整要素が位置するレール要素の収容スロット内に被搬送物の取付要素を取り付けるための、スライドレール取付機構と被搬送物との間の取付操作を示す図である。

【 図 7 B 】 本発明の一実施形態に従った、レール要素の収容スロット内に被搬送物の全ての取付要素を対応して取り付けるための、スライドレール取付機構と被搬送物との間の取付操作を示す図である。

50

【発明を実施するための形態】

【0016】

図1に図示するように、本発明の一実施形態のスライドレール取付機構は、レール要素10と、レール要素10に移動可能に取り付けられた調整要素12と、レール要素10及び調整要素12を接続するように構成された固定要素14とを備える。

【0017】

レール要素10は、上壁16aと、下壁16bと、上壁16aと下壁16bとの間に延伸及び接続された中間壁18とを有する。通路20は、上壁16a、下壁16b及び中間壁18によって画定される。加えて、本実施形態において、レール要素10は、第1収容スロット22、第2収容スロット24及び第3収容スロット26などの、複数のスロットを更に有する。第1収容スロット22、第2収容スロット24及び第3収容スロット26は、互いに分離される。第1収容スロット22は、第2収容スロット24と第3収容スロット26との間に位置する。第1収容スロット22及び第2収容スロット24は、実質的にU形状又はV形状である。特に、第1収容スロット22は、レール要素10の上壁16aの第1部分からレール要素10の中間壁18の第1部分へと延伸され、第2収容スロット24は、レール要素10の上壁16aの第2部分からレール要素10の中間壁18の第2部分へと延伸される。一方で、第3収容スロット26は、第1収容スロット22及び第2収容スロット24の形状とは異なる実質的にL形状又はJ形状である。特に、第3収容スロット26は、レール要素10の上壁16aの第3部分からレール要素10の中間壁18の第3部分へと延伸される。つまり、第1収容スロット22、第2収容スロット24及び第3収容スロット26は、レール要素10の上壁16aと中間壁18との間に形成される。第1収容スロット22は、互いに連通した第1部分28a及び第2部分28bを有する。

【0018】

図2及び図3Aは、調整要素12とレール要素10との間の配置関係を更に図示する。本実施形態において、調整要素12は、レール要素10の中間壁18に移動可能に取り付けられ、かつ、レール要素10の通路20に位置する。調整要素12は、上部34、下部36、本体部38及びブロック部40を有する。上部34は、レール要素10の上壁16aに隣接して位置するか、かつ/あるいは、接触する。下部36は、レール要素10の下壁16bに隣接して位置するか、かつ/あるいは、接触する。本体部38は、上部34と下部36との間で延伸及び接続される。ブロック部40は、本体部38から延伸されて第1収容スロット22に対応して隣接する。ブロック部40は本体部38に直接的又は間接的に接続され得る。調整要素12及びレール要素10のうちの1つは、長孔42を有する。本実施形態において、調整要素12は、例えば長孔42を有する。固定要素14は、レール要素10及び調整要素12を接続するために、長孔42を貫通する。

【0019】

図3A及び図3Bに示すように、調整要素12は、第1位置P1と第2位置P2との間でレール要素10に対して動くことができる。特に、調整要素12が、第1位置P1に位置するとき、ブロック部40などの調整要素12の一部は、第1部分28aと第2部分28bとの間の第1収容スロット22内にあるように延伸しない。調整要素12が、第1位置P1から第2位置P2へと動くように調整されるとき、ブロック部40は、第1部分28aと第2部分28bとの間の第1収容スロット22内にあるように延伸し、かつ、第1収容スロット22内の空間の一部を占める。

【0020】

図4に図示するように、スライドレール取付機構は、被搬送物44に適用可能である。本実施形態において図示するために、被搬送物44（電子機器のシャーシ、引出しなど）は、第1の長さL1を有し、かつ、第1取付要素46、第2取付要素48及び第3取付要素50などの複数の取付要素を含む。

【0021】

図5A及び図5Bに図示するように、レール要素10の第1収容スロット22、第2収

10

20

30

40

50

容スロット 2 4 及び第 3 収容スロット 2 6 は、それぞれ、被搬送物 4 4 の第 1 取付要素 4 6、第 2 取付要素 4 8 及び第 3 取付要素 5 0 を取り付けられるように構成される。特に、被搬送物 4 4 が、レール要素 1 0 に取り付けられるとき、ユーザは、被搬送物 4 4 の第 3 取付要素 5 0 を第 3 収容スロット 2 6 内に斜めに配置することができる。第 3 収容スロット 2 6 が実質的に L 形状又は J 形状なので、第 3 取付要素 5 0 が第 3 収容スロット 2 6 に入った後、第 3 取付要素 5 0 は第 3 収容スロット 2 6 内でブロックされ得る。一方、調整要素 1 2 が第 1 位置 P 1 に位置するように調整され得るので、調整要素 1 2 のブロック部 4 0 は、第 1 部分 2 8 a と第 2 部分 2 8 b との間の第 1 収容スロット 2 2 内にあるように延伸せず、これにより、被搬送物 4 4 の第 1 取付要素 4 6 及び第 2 取付要素 4 8 は、それぞれ、第 1 収容スロット 2 2 及び第 2 収容スロット 2 4 内に取り付けられ得る。特に、被搬送物 4 4 が、レール要素 1 0 から取り外されるとき、ユーザは、第 2 取付要素 4 8 近くの被搬送物 4 4 上の、ある位置に力を加えて被搬送物 4 4 を持ち上げる必要だけがあり、これにより、第 3 取付要素 5 0 は、レール要素 1 0 の第 3 収容スロット 2 6 から結果的に取り外されることができ、レール要素 1 0 から被搬送物 4 4 を解放する。

10

20

30

40

50

【0022】

図 6 に図示するように、スライドレール取付機構は、被搬送物 2 0 0 に適用可能である。被搬送物 2 0 0 は、第 2 の長さ L 2 を有する（第 2 の長さ L は、図 4 の被搬送物 4 4 の第 1 の長さ L 1 とは異なり、例えば、第 2 の長さ L 2 は第 1 の長さ L 1 より短い）。被搬送物 2 0 0 は、レール要素 1 0 に取り付けられることができる、第 1 取付要素 2 0 2 及び第 2 取付要素 2 0 4 を備える。

【0023】

図 7 A 及び図 7 B に図示するように、レール要素 1 0 の第 1 収容スロット 2 2 及び第 2 収容スロット 2 4 は、それぞれ、被搬送物 2 0 0 の第 1 取付要素 2 0 2 及び第 2 取付要素 2 0 4 を取り付けられるように構成される。

【0024】

被搬送物 2 0 0 が、レール要素 1 0 に取り付けられるとき、調整要素 1 2 のブロック部 4 0 が、第 1 部分 2 8 a と第 2 部分 2 8 b との間の第 1 収容スロット 2 2 内にあるように延伸することを可能にするために、調整要素 1 2 は、ユーザによって事前に調整されて、レール要素 1 0 に対して第 2 位置 P 2 へと動き、第 1 収容スロット 2 2 内の空間の一部を占めることができる。その一方で、第 1 収容スロット 2 2 は、ブロック部 4 0 によって実質的に L 形状又は J 形状に変えられる。被搬送物 2 0 0 をレール要素 1 0 に取り付けるとき、ユーザは、第 1 収容スロット 2 2 の第 1 部分 2 8 a から、第 1 収容スロット 2 2 の第 2 部分 2 8 b 内に被搬送物 2 0 0 の第 1 取付要素 2 0 2 を斜めに配置することができる。一方、被搬送物 2 0 0 の第 2 取付要素 2 0 4 は、取り付けのために、第 2 収容スロット 2 4 に結果的に落とし込まれ得る。調整要素 1 2 のブロック部 4 0 の支援により、被搬送物 2 0 0 の第 1 取付要素 2 0 2 が、垂直な方法で、第 1 収容スロット 2 2 から直接的に取り外れることを防ぐことができる。特に、ユーザは、第 1 収容スロット 2 2 及び第 2 収容スロット 2 4 に被搬送物 2 0 0 の第 1 取付要素 2 0 2 及び第 2 取付要素 2 0 4 をそれぞれ取り付け、次いで、調整要素 1 2 のブロック部 4 0 によって被搬送物 2 0 0 の第 1 取付要素 2 0 2 をブロックするために、調整要素 1 2 を調整して第 1 位置 P 1 から第 2 位置 P 2 へと動かすこともできる。従って、調整要素 1 2 の位置は、制限なくユーザの実際の要求に従って調整され得る。

【0025】

本発明のスライドレール取付機構は、異なる長さを有する被搬送物に適用可能である。特に、レール要素の構造を変えない状態で、調整要素の位置は、被搬送物の取付要素をブロックする要件に従って調整されて、レール要素の収容スロット内に留まることができる。

【0026】

当業者であれば、本発明の教示を維持しながら、装置及び方法の多くの変更及び代替が行われ得ることを容易に認識するであろう。従って、上記の開示は、添付した請求項の境

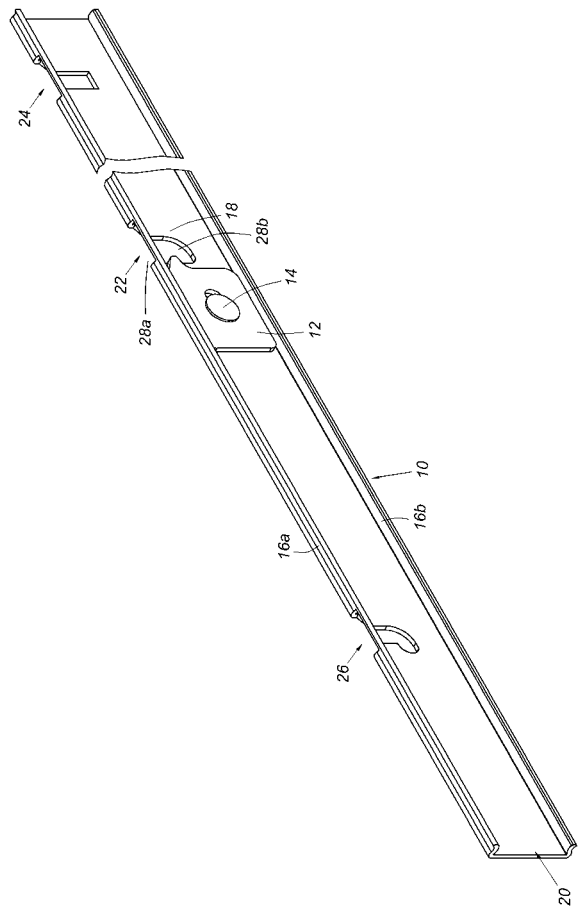
界及び範囲 (m e t e s a n d b o u n d s) によってのみ限定されるものとして解釈されるべきである。

【符号の説明】

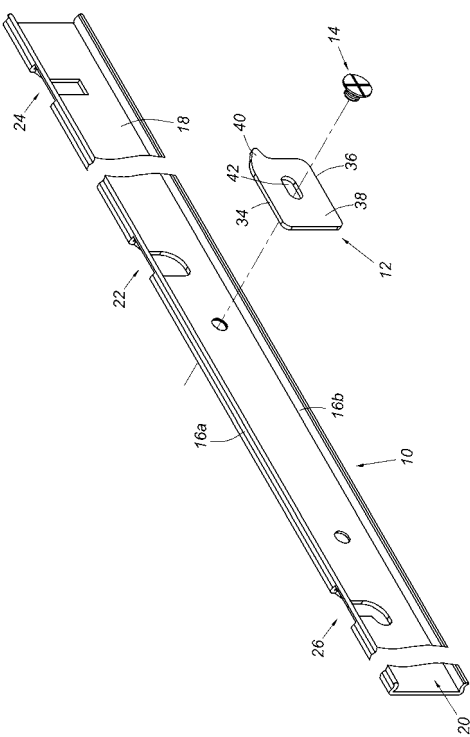
【 0 0 2 7 】

1 0	レール要素	
1 2	調整要素	
1 4	固定要素	
1 6 a	上壁	
1 6 b	下壁	
1 8	中間壁	10
2 0	通路	
2 2	第 1 収容スロット	
2 4	第 2 収容スロット	
2 6	第 3 収容スロット	
2 8 a	第 1 部分	
2 8 b	第 2 部分	
3 4	上部	
3 6	下部	
3 8	本体部	
4 0	ブロック部	20
4 2	長孔	
4 4	被搬送物	
4 6	第 1 取付要素	
4 8	第 2 取付要素	
5 0	第 3 取付要素	
2 0 0	被搬送物	
2 0 2	第 1 取付要素	
2 0 4	第 2 取付要素	
P 1	第 1 位置	
P 2	第 2 位置	30

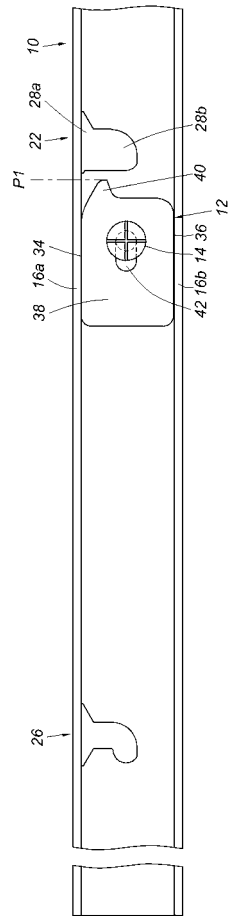
【図 1】



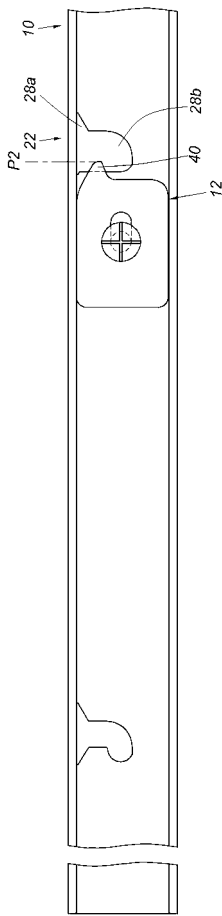
【図 2】



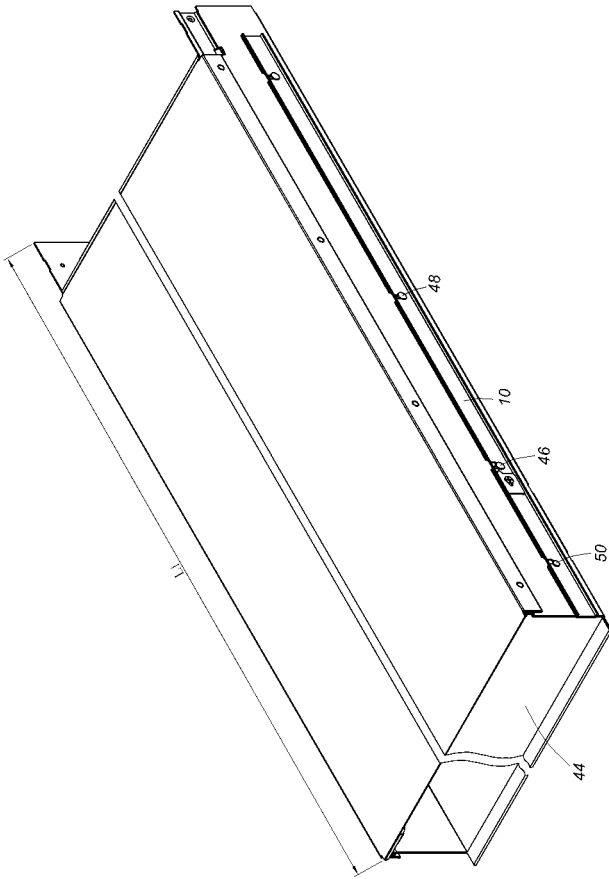
【図 3 A】



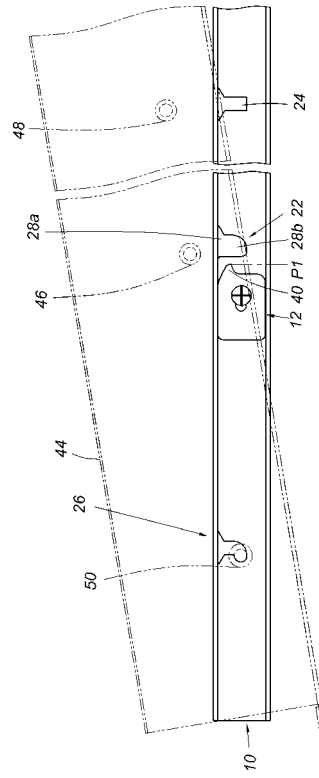
【図 3 B】



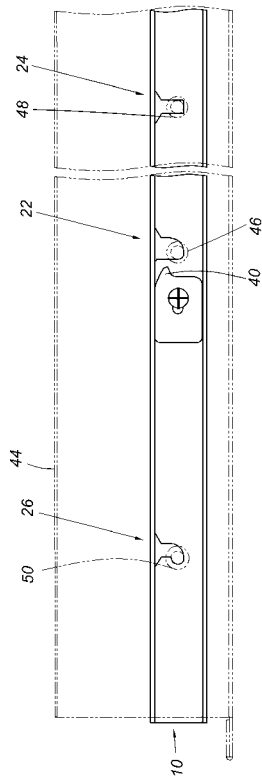
【図 4】



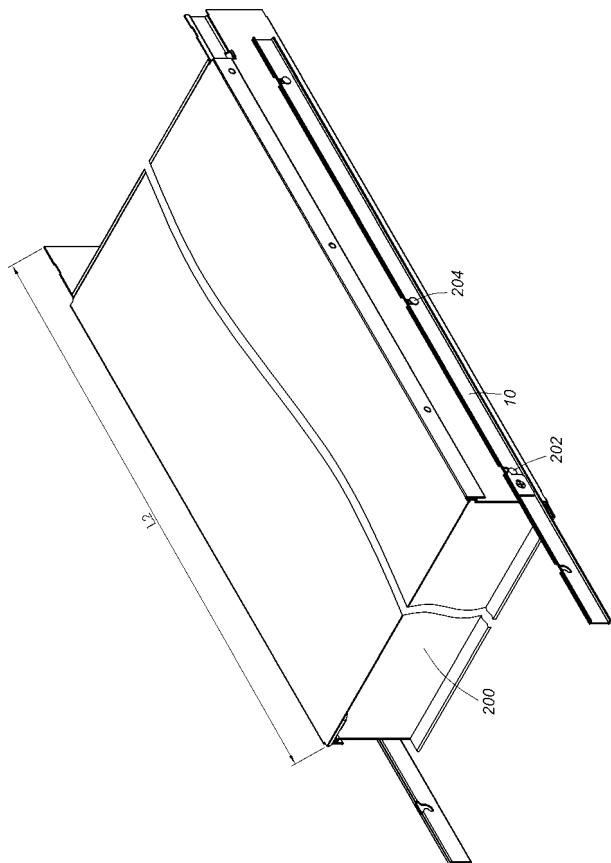
【図 5 A】



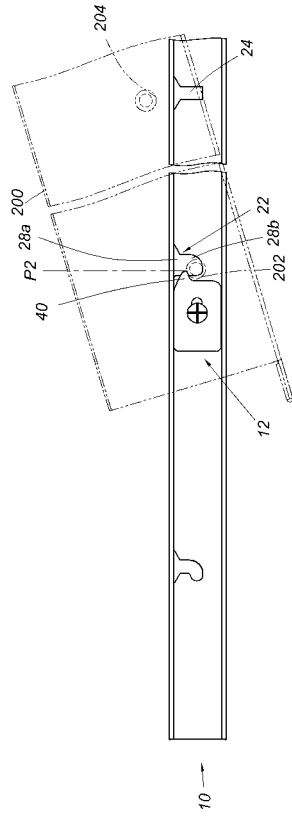
【図 5 B】



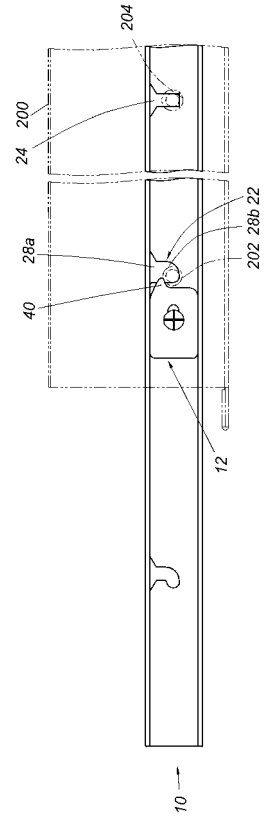
【図 6】



【図 7 A】



【図 7 B】



フロントページの続き

- (72)発明者 陳 庚金
台湾高雄市路竹區後▲郷▼里順安路二九九號
- (72)発明者 楊 順和
台湾高雄市路竹區後▲郷▼里順安路二九九號
- (72)発明者 ▲黄▼ 建立
台湾高雄市路竹區後▲郷▼里順安路二九九號
- (72)発明者 王 俊強
台湾高雄市路竹區後▲郷▼里順安路二九九號
- F ターム(参考) 3B060 NA00 ND05
3J104 BA06 DA03 EA08
4E360 AB23 GA46